

[苗かき取り量の調整]

横送り回数と縦送り量（通常、苗取り量レバー）の調整で、3.0～4.0本/株を目安に移植する。欠株が5～10%生じることがあるが、収量は変わらず、苗箱数は9枚/10a程度と、通常の2分の1に削減できる。

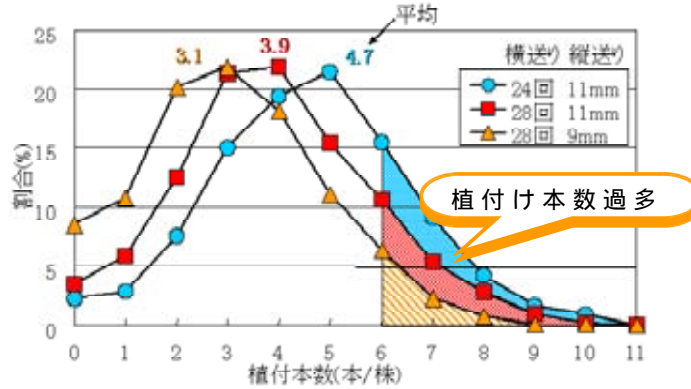


図9 植付け本数の分布(180g播き、I社製PG63)

横送り、縦送り	欠株率(%)				合計
	単欠	2	3	4	
24回、11mm	1.8	0.2	0.0	0.2	2.2
28回、11mm	2.9	0.5	0.0	0.0	3.4
28回、9mm	6.2	1.8	0.5	0.0	8.5

注) 180g播き、I社製PG63

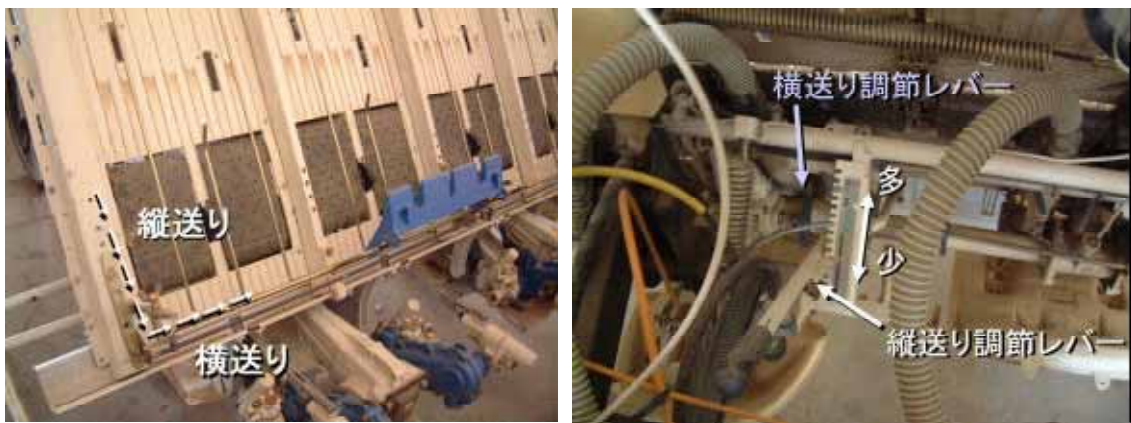


図10 田植機の横送り回数と縦送り量の設定方法(I社製PA60)

表7 株間22～24cmでかき取り量を減らした場合の収量・品質

移植日	試験区		使用 苗箱数 (枚/10a)	植付 本数 (本/株)	精玄米重 (kg/10a)	良質粒 割合 (%)	等級
	栽植密度	苗かき取り量 横送り、縦送り					
2002/6/19	18.5株/m ²	24回、11mm	16.5 (100)	4.9	576 (100)	89.6	
	13.6株/m ²	28回、8mm	8.7 (53)	3.2	586 (102)	89.8	
2003/6/11	18.5株/m ²	24回、11mm	14.4 (100)	4.7	541 (100)	80.5	
	15.2株/m ²	28回、8mm	6.5 (45)	2.3	524 (97)	79.4	

注) 180g播き、2002年はI社製PA60、2003年はPG63